

第24回 原子力委員会臨時会議議事録

1. 日 時 1995年7月14日（金）9：30～

2. 場 所 委員会会議室

3. 議 題

（1）新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について

4. 審議事項

（1）新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について

標記の件について、電気事業連合会から

- ・電気事業法の改正等電気事業者を巡る厳しい情勢の中で、経済性向上に向けて厳しい経営判断を求められている。
- ・新型転換炉実証炉建設に係るコスト見直しを進めたところ、当初の3,960億円という見込みが5,800億円にのぼることが判明したため、電気事業連合会としては、この経済的理由により新型転換炉実証炉の建設計画の見直しを要望し、代替案として全炉心MOX燃料利用を目指したABWR（出力135万kW）の建設を提案。
- ・新型転換炉の開発過程における知見、実績は貴重なものと認識しており、今後の計画に活用を希望する。
- ・地元対応については、地元との信頼関係を維持するため、青森県をはじめ関係方面と十分連絡をとりつつ対処していく。

等の説明があり、審議した結果、

- ・国の原子力政策決定に当たっては、経済性のみならず、総合的な観点から判断する必要がある。
- ・新型転換炉実証炉建設について、コストダウンの努力はどれだけなされているのか。
- ・プルトニウム利用体系における新型転換炉の位置付けについて十分に議論すべきであり、その際、バックエンドへの影響という観点からも考える必要がある。

等の意見があり、引き続き審議することとした。